

日本文学

ティーンズ文学館

願かけネコの日

那須田淳 / 作 スカイエマ / 画
学研教育出版 (2011年) 本体価格1200円+税

「願かけ」って“叶うよう一生懸命努力するからどうぞ見てください”と神様に誓うこと。
願かけに行って死んじゃったおれは、つぎの満月までにその願いを叶えれば生き返る事ができるんだって。だけれど、ハードル高すぎ!!

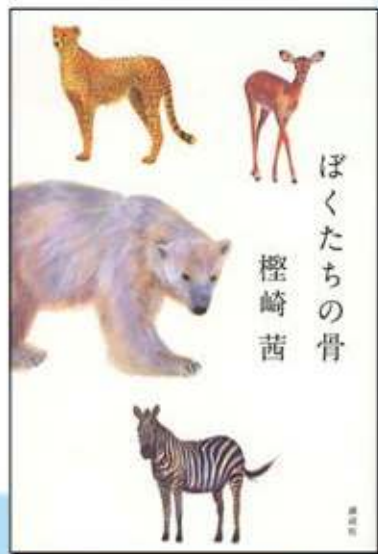


極貧! セブンティーン

黒野伸 / 作
学研教育出版 (2011年) 本体価格1400円+税

数島貴美、二六歳。心療内科医。
高校二年生の時に駆け落ちし、上京。
その日から彼女の人生は、一変する。
頼る人もいない、お金もない状況の中で
懸命に生きるセブンティーン姿は、
あなたの目にどう映るだろうか。

ぼくたちの骨



樫崎茜 / 著
講談社 (2011年) 本体価格1400円+税

陸上部に所属する千里は、足を痛めて走れない日が続く。そんな時、休園間近の動物園で不格好な剥製に出会い、自分の姿を重ね合わせていく。剥製の修復を通して見つめる、生と死。止まっていた時間が、ゆるやかに動き出す。

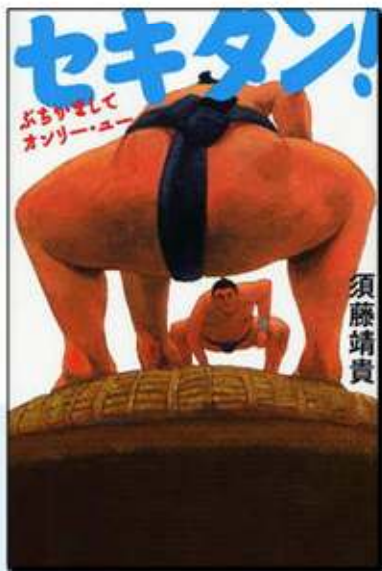
セキタン!

ふちかまして オンリー・ユー

須藤靖貴 / 著
講談社 (2011年) 本体価格1400円+税

不思議な話だ。突然ナゾの兄ちゃんが現れて、「力士になれ」という。リアルに考えられない。でも金が欲しい。横綱の月給は282万円だ。

…ヨシ、やると決めたからには、セキタン焚いて(相撲言葉。急いでの意)二十歳までに関取になってやる! 青春相撲小説、ここに誕生!



須藤靖貴